



YANMAR

News Release

2022 年 1 月 5 日
ヤンマーホールディングス株式会社

マシンコントロール機能搭載の後方超小旋回ミニショベル 「ViO30-6 ブレード 3DMC 仕様」を発売



<「ViO30-6 ブレード 3DMC 仕様」>

ヤンマーホールディングス株式会社のグループ会社であるヤンマー建機株式会社(本社:福岡県筑後市、社長:奥山博史、以下 YCE)は、当社で初めてマシンコントロール機能を搭載した後方超小旋回ミニショベル「ViO30-6 ブレード 3D マシンコントロール(以下 3DMC)仕様」を 2022 年 1 月 5 日より販売開始します。

本機は「ViO30-6」をベースに、チルトアングルブレードと、自動整地システムを新たに搭載しており、小規模な駐車場や道路の補修工事等、日本国内特有の狭小な現場での効率的な整地作業に貢献します。

また、自動整地作業中の上部体旋回や 4t スライダートラックに積載して輸送できるなど、作業の安全性や利便性の面でもお客様の負担軽減を実現します。

さらにクレーンを標準装備しているため、この機械 1 台で、「掘る・吊る・均す」の三役を担うことができるようになっています。

今後も YCE は、安全かつ作業現場の生産性を向上させる建設機械を提供するとともに、住宅建設やインフラ整備などの街づくりへの貢献を通じて、あらゆる人が安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

■商品概要

商品名:ViO30-6 ブレード 3DMC 仕様

発売日:2022年1月5日

標準小売価格:24,178,000円(税込)

商品スペック

搭載エンジン型式	3TNV88-ESBV
機械質量	3500 kg
定格出力	18.5kW / 2200min ⁻¹
輸送時寸法[全長×全幅×全高]	4470mm×1800mm×2500mm
チルト角度	6.7度
アングル角度	20度

※価格及び諸元はフル仕様のもを掲載しています。ターゲットプリズムや角度センサー等をお持ちのお客さまにはセンサー類を取り外した状態のレディ仕様もご用意しています。詳しくはお近くの販売店へご確認ください。

■主な特長

(1) 整地作業の自動化

3D マシンコントロール機能を搭載して整地作業を自動化することにより、熟練者でなくても高精度な敷き均し作業が可能となったほか、丁張りが不要で、建設現場の人材不足解消、工数削減、工期短縮に貢献します。



<3D マシンコントロールによる作業現場イメージ>

(2) コンパクト設計

全ての仕様を含む機械質量を3500kgに設定しており、最大積載量3600kgの4tスライダートラックで輸送が可能となります。狭小な現場にも安全かつ容易に搬入ができ、スムーズに作業に取り掛かることができます。

(3) 上部体旋回*

マシンコントロール機能を活用した自動整地作業中にも上部体が旋回可能なため、安全上の観点からバック走行が禁止されている現場での作業が可能となります。

※ 作業の際は、作業機やバケット部分とターゲットプリズムやステーとの干渉の恐れがございますのでご注意ください。

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー コミュニケーション部 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com